

平成 30 年度 第 1 回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）  
運営推進会議議事録

日時 : 平成 30 年 5 月 24 日(木) 13:07 ~ 13:45  
場所 : あやべ協立診療所 3F 複合型サービスきょうりつ家族談話室  
参加者 : 綾部市 : 大島 けい子様  
地域包括支援センター : 小野 明日香様  
利用者の家族代表 : 柴田 直美様  
複合型サービスきょうりつ  
(管理者) : 大槻 美智代  
(計画作成担当者) : 白波瀬 実  
欠席者 : 地域住民の代表 (民生委員) : 安達 一男様

1、報告事項

- ・ 4 月実績 : 延べ登録者数 27 名  
短期利用 0 名
- ・ 平均介護度 : 2.66
- ・ 利用地域 : 青野、神宮寺、幸通、上野、宮代町、黒谷、小貝、広瀬、広小路、岡、物部、  
中筋、大島、高津、鍛冶屋、川糸、綾中、若松、(篠田)、(有岡)、(位田)  
( ) …新規
- ・ サービス別 延べ提供数  
通い : 363 回 泊り : 144 回  
訪問 (介護) : 212 回 訪問 (看護) : 41 回  
全サービス提供回数 760 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 6.0 回)  
(前回 2 月の実績) 延べ登録者数 27 名  
通い : 412 回 泊り : 186 回 訪問 (介護) : 181 回 訪問 (看護) : 40 回  
全サービス提供回数 819 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 5.7 回)
- ・ 利用状況…4 月、入院により 2 名利用中断。新規利用 1 名
- ・ サービスごとの特徴  
通いサービス…登録利用者減少に伴い減少。  
泊りサービス…3~7 名と日差があり、部屋数はやや余裕ある状況。  
訪問 (介護) …1 日最大 10 件あり、訪問増加傾向。  
訪問 (看護) …回数は大きな変化ない。健康状態の確認、バルンカテーテル管理等行っている。
- ・ ターミナルケア…訪問や通い・泊りを組み合わせて利用。病気の進行により食事入らなくなられ施設で連続した泊りに変更。3 月 25 日の朝、家族が見守られる中亡くなられた。

## 2、地域や介護サービスの課題等

複合型事業所からは「服薬」の課題について提起。ケアマネがボランティア的に服薬確認を行っているケースがある。服薬確認だけの短時間の場合、介護保険サービスが利用できない。地域の中で助け合いや見守りの体制づくりが課題。

カメラや電気ポットなどで、家族が見守る方法もある。高齢者で電話が使えない方がある。タブレット端末やロボットなどの活用が進められている。

## 3、地域の状況、要望・助言

4月の介護報酬改定で、退院支援の強化や訪問サービスの強化が位置づけられた。だれでも最期まで住み慣れた自宅で暮らしたいが難しいケースもある。現在、要介護3以上でない長期入所できない。申し込んでも半年以上待つ方が多い。

地域包括支援センターへの相談内容で、急に動けなくなられる方がいる。要支援認定の方が半日運動できる場所が増えた地域がある。保健センターや上林・物部地域でも運動や脳トレできる場所など、少しずつ広がってきている。老人会が徐々に少なくなっているとの情報ある。地域の方との話し合いで地域課題を解決できるような仕組みづくりが進められている。

複合型サービスの取り組みとして、認知症を介護されている方の負担感の尺度を参考に看取り介護の負担感をスケール化を予定している。負担感は家族ごとに大きく異なるため、負担が限界を超えないよう支援する目安となり、介護者本人も休息等が必要な状況が把握できるようにしたい。

## 4、その他

ひだまりカフェ（認知症カフェ）5月26日（土）9：30～実施。琴の演奏を予定。参加要件等ないため、誰でも参加可能。今年度、京都協立病院でも新たに認知症カフェを開始している。

他、各地域での認知症カフェやサロンの運営状況の情報を交流した。

○ 次回、運営推進会議日程 平成30年7月27日（金）14時～

以上